


健全な男女共同参画社会をめざす会

正しい男女平等とは

[トップ](#) [入会のご案内](#) [会報](#) [活動内容](#) [リンク集](#) [お問い合わせ](#)

[会報一覧に戻る](#)

なでしこ通信 15号

<h3>なでしこ通信</h3>	<h4>目次</h4>
<h3>第15号</h3>	<ul style="list-style-type: none">○母性を引き出す教育の必要性 小田晋○千葉・市川市で快挙！ ジェンダフリー条例を大是正○新刊紹介「女はなぜ土俵にあげられないのか」
	

母性を引き出す教育の必要性 帝塚山学院大学教授・精神科医 小田晋

神奈川県平塚市のアパートの一室から五つの遺体が発見された事件ほと人々に衝撃を困惑を与えたものはないでしょう。アパートに居住していた一家は逮捕された岡本千鶴子容疑者（54）以外は、すべてしたいになっていました。

岡本容疑者の人間性はむしろ古代から存在する民族心理の古層を思い浮かべたくなるよう

なところさえあります。生命を産み出し、またそれをのみ込んでしまうような怖ろしい母性の一面は、伝説や民話では子供を殺して食べる鬼子母神や鬼婆、さらに「赤ずきんと狼」というグリム童話の中に出てくる狼が化けたお婆さんなどの姿で形象化され、ドイツ語圏スイス人の分析的心理学者のC・G・ユングはこれを人類が共有する集合的意識としての元型の一つである太母（グレート・マザー）と呼んでいます。

この事件はグレート・マザーの最も暗黒な一面を私たちに示しているのでしょうか。もちろん母親にとって普通、子供は最も大切なもので、子供のためならどんな犠牲もいとわないというのが大抵の母親の意識でしょう。

それでも女性による殺人の被害者のうち最も多いのが家族、特に実子殺です。児童虐待の事例は特に近年、その認知件数が激増しています。しかし母親による子供の養育行動は、鳥類以上の温かい地血の通っている動物にすべて共通しています。

それは「ジェンダーフリー」を説いてきた人たちが言うように「性別役割分業」によって社会から押し付けられたものではありません。それでも哺乳類、とくに霊長類では、母親としての役割を果たすためには、そして同情心や優しさを育てるためには、生れてから後に、母親による養育行動を「刷り込む」ことが必要なのです。

たとえばサルでも、乳児期に母親に育てられず、哺乳瓶を鉄のアームで突き出して吸わせるという育て方をすると、成長しても決してサルの仲間に入っていないという「**隔離飼育ザルの実験**」とうのがあります。メスの隔離飼育ザルでも発情期に檻の中にオスのサルを入れてやれば子供は産みますが、決して育てません。場合によっては引き裂いてしまいます。

岡本容疑者にはこの隔離飼育ザルを連想させるところはないでしょうか。「ジェンダーフリー教育」「自律のおためごかし」で母親と子供を引き離し、女のこに母親らしい行動の芽を育てることさえ「ジェンダーフリー」に反するというので幼児教育でも、学校教育でも、家庭のしつけでも女のこに「母親らしさ」を刷り込むことを禁止するような今日の風潮は、もしかしたら第二・第三の岡本容疑者」を生み出す下地をせっせと作りだしているのかもしれない。

「我が子ながら子供がかわいくない。もしかしたら私には母性本能がないのかしら」ち、もし感じられたら・・・まず子供を抱き上げて、頬ずりして下さい。そうやって自分の養育行動を引き出し、育て上げることが第一なのです。

千葉・市川市で快挙！ジェンダーフリー条例を大幅是正

昨年12月6日、千葉県市川市議会はジェンダーフリー思想にもとづく原稿の基本条例を抜本的に見直す条例を賛成多数で可決しました。新条例は4月より施行の予定。

■どんな条例だったのか■

- ★家庭・地域・教育現場のジェンダーフリー化を「あるべき姿」と制定
- ★教育では「性別にとらわれない名簿・係・当番」を奨励
- ★情報を公に発信しようとする際「性別役割分担意識をもつことを助長するような表現」の規制を配慮
- ★女性の恣意的な中絶を容認する規定の盛り込み

■どのようにして変えたのか？

全国に広がるジェンダーフリーの弊害にいち早く気付いたのは保守系市議・高安紘一氏でした。「とんでもない条例を制定させてしまった・・・」という危機感を持った高安市議は、早速同志を集め勉強会を発足させました。会を重ねる中で、市議らは「条例の一部修正では不十分だ。ジェンダー概念を一掃した新条例にせねば」という決意を固めるようになります。

その後、高安市議を座長とする新条例作成のためのプロジェクトチームが立ち上がりました。チームは一年半にわたる作業を経て、ついに条例案を完成させました。議会審議でははげしい攻防が続きましたが、最後まで結束をゆるめなかった保守会派が22対18の僅差で条例の抜本改正に成功したのです。

■新しい条例の内容は■

- ①ジェンダーの文言を一掃し、日本人の常識と伝統文化に基づく共同参画のあり方を示しています・

条文「男女が、その特性をいかし、必要に応じて適切に役割分担しつつ、互いが対等の

立場協力・・・・」

「男女が男らしさ、女らしさを否定することなく、互いにその尊厳を認め合い・・・」

②「家族の絆」「子供の健全育成」の視点を盛り込んでいます。

条文「家庭において実現すべき姿～家庭尊重の精神」

「専業主婦を否定することなく、現実家庭を支えている主婦を家族が互いに協力し、支援する。」

「女性のみにも与えられた母性を尊重するとともに、育児における父性と母性の役割を大切に・・・」

「妊娠・出産期・育児期等に応じて母性及び子の最善の利益が尊重される」

③教育における男女の性差を尊重しています。

条文「区別と差別とが混同されることのない運営がなされる教育」

「思春期の性別に配慮した教育」

「生命の尊厳に配慮し、発達段階に応じて適切に行われる性教育」

■私たちにできることは■

市川市の成果はきわめて今日的な示唆に富んでいます。何より重要なのは、昨年から続くジェンダーフリー派の退潮がいつそう加速したことです。上野千鶴子は「バックラッシュ（反ジェンダーフリーの動き）のおかげで、ジェンダー関係者の連帯が強まったのが思いがけない成果」「あとになってふりかえれば、バックラッシュのおかげで2006年はジェンダー論刊行の当たり年だった、と言えるだろう。予期せぬ効果というべきか」（18・12・7愛媛新聞）等、負け惜しみとも言える発言をしています。

ここ一、二年、あまりに非常識な男女共同参画の解釈に基づく政策や実態を目の当たりにした良識ある人々の声が大きくなり始め、その動きは安倍内閣になってからいつそう加速

しました。しかしまだまだジェンダーフリー派は国や地方政治の中枢に位置し、莫大な予算と大きな権限を持っているのです。今回の市川市の取り組みで特筆すべきは、しっかりと学習を積んだ保守政治家の方々の存在です。私たちの暮らしの核となる教育や家庭、地域の文化を守っていかうという圧倒的な世論を背景に、揺らぐことなく初志を貫いた方々に心からの拍手を送りたいと思います（またこの改正をめぐり多くのメールやファクスが全国から寄せられましたが、その63%は改正支持のものでした）。私たちもこの「良識の渦」で政治の岸辺を打たなくてはなりません。ぜひ今年、愛媛も市川に続きましょう！

新刊紹介

内館牧子 「女なぜ土俵にあがれないのか」 幻冬舎新書 780円

大相撲は古代の神事から格闘技、そして国技へと変貌を遂げながら千三百五十年余を生き抜いてきた。日本人の豊かな精神性が凝縮されたこの伝統を「男女共同参画」や「グローバルズム」などという現代の価値観で踏みにじってもいいのだろうか。横綱審議委員をつとめる著者の大相撲への思いがあふれた一冊である。

▽私は例えば女性に選挙権がないとか、女性が教育を受けられないとか、女性だけが肉体的、精神的に理不尽な苦しみを受けて当然とされるとか、それらは差別だと考える。しかし祭事や伝統芸能や民族的な男女別を、それらと同列に考える必要はないと思っている。男だけ、女だけの世界があってもいいし、守っていい。たとえ「女は不浄」という考えが、その原点としてあったにせよ、である（本文より）

■□□□事務局からのお知らせ■□□□

■「なでしこ通信」14号にて、市川市に新条例を支持する旨の応援メールやファクスを送っていただくようお願い致しましたが、皆様のご協力、誠にありがとうございました。当初はジェンダーフリー派からの旧条例改正反対の声が圧倒的だったそうです。勉強会をされていた22人の保守系議員の方達にはジェンダーフリー派の一本釣りの攻撃

がすさまじく、結束をゆるめぬように半年毎に血判状ならぬ署名捺印をしその意思を確認し合ったそうです。

■月2回「めざす会」学習会を開催しております。日時や会場は事務局までお問い合わせ下さいませ。

■会員になられて1年が経過する方には振替用紙を同封しております。更新の時期にご家族やご友人にもご入会いただけますようお願い致します。年会費はおひとり1000でございます。新しい型のお名前は通信欄にお書き下さいませ。

健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 小笠原ミワ子

事務局 青井美智子

〒790-0931松山市西石井1-3-30

電話090-3181-4004 FAX 089-964-3903

メール t64r59@bma.biglobe.ne.jp